栃木

宇都宮支局
〒320−0027
宇都宮市塙田1−3−9
☎ 028・621・3611
FAX 028・650・1559
utsunomiya@sankei.co.jp
広告 028・622・5591
購読申し込み 0120・70・3034
配達・集金 0120・34・4646
紙面・記事 03・3275・8864
Web http://www.sankei.com/region/region.html

ラムサール条約登録日の来月3日

記念日指定、遊水地アピール

湿地環境を保全するために行われる渡良瀬遊水地のヨシ焼き。東日本大震災後、中断されたが、平成25年3月に3年ぶりに再開した

栃木市は19日、ラムサール条約登録湿地の渡良瀬遊水地の存在をアピールしようと、登録日に当たる7月3日を「登録記念日」に指定すると発表した。7、8月を「強化月間」と位置づけ、さまざまなイベントを通じて遊水地の自然を改めてPRする。

4県6市町にまたがる渡良瀬遊水地は平成24年に国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録された。全体面積の約7割を占める栃木市は遊水地の保全活用を図るために10年間の基本計画「ハートランドプラン」を策定するなど、地域振興に生かそうという動きを強めている。

記念日への指定を周知するため、チラシを全戸配布したほか、今月下旬から市役所に懸垂幕を掲示し、市内の公共施設や学校などにのぼり旗を掲げる。

栃木市 7、8月にイベント企画

7月5日には、道の駅みかも（同市藤岡町大田和）で登録3周年の記念イベントを開催。遊水地の象徴、ハート形の谷中湖をモチーフにした「Hearts（ハーツ）姫」や遊水地に飛来するタカの一種・チュウヒをイメージした「Watarase712（ワタラセナイツ）」などのイメージキャラクターが登場。オリジナル絵本「ハートランドのかくれんぼ」の読み聞かせやパネル展示などが予定されている。

8月には、遊水地を周回して自然や成り立ちなどについて紹介する「渡良瀬遊水地ぐるり旅」などのウオーキングイベントも企画。市は「条約登録から3年を迎えるこの機会に、改めて遊水地について知ってほしい」としている。

26年度の児童虐待相談

受理、対応件数 最多に

県は19日、平成26年度に県内の児童相談所と市町への児童虐待相談は、件数が比較できる17年度以降の10年間で受理、対応件数とも667件となり、16年の児童福祉法改正に伴い市町が虐待相談受理機関となった17年度から最多となった。

相談が増加した理由として、同課は、①虐待への意識の高まり②市町による要養育支援家庭の把握と支援の徹底③警察や医療機関、学校などの連携強化―を挙げている。

ドナー登録者こ助成金

提供で採取のために3泊、末梢血幹細胞では4～6泊程度の入院が必要となる。その間、仕事を休まなくてはならず、ドナー候補者が最終同意前に提供を断るケースが少なくないという。

このため、今年4月以降に骨髄などを提供した市内在住ドナーに1日当たり

ふわ→ほっそり パカの"衣替え"

鳥獣作物被害3億5400万円

26年度 19・7%増、獣類が7割超

県は19日の県議会農林環境委員会で、平成26年度の野生鳥獣による農作物被害状況を報告した。県農村振興課によると、被害額は前年度比19・7%増の約3億5400万円で、うちイノシシやシカなど獣類による被害額は同24・7%増の2億7200万円で過去最大となった。

鳥獣の農作物被害額の77%を獣類が占めた。イノシシによる被害額が1億5600万円で57・5%を占めて最も多く、次いで、シカ3700万円、13・7%▽サル3300万円、12・1%▽ハクビシン3100万円、11・4%▽クマ1100万円、4・2%―となった。その他は400万円、1・1%。前年度に比べ、イノシシ、サル、クマの被害額が増加し、シカ、ハクビシンは減少した。

一方、シカとクマによる植林の食害や皮はぎなどの林業被害について、県自然環境課は、25年度の被害面積を計413㌶、経済的被害1億6600万円、経済以外の公益的被害1億6千万円と算出している。

イノシシやシカ捕獲数過去最多

食料不足が要因

県が19日の県議会農林環境委員会で報告した平成26年度の主な獣類の捕獲と林業被害状況によると、イノシシの捕獲数は目標の8千頭を大きく上回る1万3000頭で採取した。前年度の37頭を上回り、過去2番目に多かった。

26年度の捕獲数が多かった理由を、小川圭一環境森林部次長は「山の木の実の不作などで食料が不足し、人里に下りてくる獣類が増えた」などと説明した。

足利学校復元、25年の歩み紹介

史跡足利学校（足利市昌平町）の復元25周年の歩みを紹介する企画展が足利学校旧遺跡図書館で開かれ、写真パネルなど計80点が展示されている＝写真。10月8日まで。

足利学校は平成2年、江戸時代の絵図を元に主要建築物である方丈や庫裏など計7棟、南北の庭園を事業費約15億円で整備。年間約18万人が来場する。

同展では復元工事や落成式の写真、江戸時代のすずりなどの出土遺物、復元に伴い実施されている足利学校アカデミーやこども講演の資料などを展示している。

また、今月27日午前10時、足利市民会館小ホール（同市有楽町）で、徳川記念財団理事長、徳川恒孝さんが「日本の心」と題して記念講演する。受講料500円。定員200人で残席はわずか。問い合わせは足利学校事務所☎0284・41・2655。

女性経営者団体「すみれ会」発足

県内女性経営者の交流・相互支援の場として設置さ

れた「すみれ会」（会長＝大古秀子・大古精機社長）の発足式が19日、宇都宮市西原のグランドホテルで開かれた＝写真。県内で女性経営者団体が発足するのは初めてといい、招かれた福田富一知事は「若い女性の芸術文化・ビジネスの目標となる組織ができた」と歓迎した。

会員は建設業や旅館業、税理士、専門学校主宰など幅広い。現在54人だが、年末までに100人を目指す。フルート奏者の山形由美さんや伝統工芸士の諏訪ちひろさんら栃木ゆかりの文化人が賛助会員となった。

いちご広告社（同市）の橋本文夫社長の肝いりで発足。同社は会員の軌跡などを紹介した「栃木県女性経営者100人 Vol・1」を出版した。B5判、1500円（税別）。12月に第2弾を発行する予定。

あすのこよみ

（21日）
旧5月6日
《仏滅》

月齢……4.5
月出……4：22
日入……19：02
月出……8：44
月入……22：05
満潮……5：45 / 19：42
干潮……0：25 / 12：49
中潮……（大洗）

献血
とちのみ学園（午前9時半～午後4時）
20日

おくやみ

氏名・年齢に続き①死亡日の自宅②告別式③喪主

宇都宮 ▼松井浩さん60＝前役社長の農取②松井木材市場代表取・松井家合同葬として21日後2時、鶴田町1545の1、アルファクラブ宇都宮御殿②長男、デーモンド代表取締役社長、崇（たかし）さん

足利 ▼川島センさん82①19日の自宅②木町③22日前0歳、所…